

告示	番号	67	悪性新生物
	疾病名	脈絡叢乳頭腫	

脈絡叢乳頭腫

みやくらくそうにゅうとうしゅ

概要・定義

脈絡叢上皮に類似した細胞が乳頭状構造を作る脳室内腫瘍である。脈絡叢乳頭腫は生物学的に良性で WHO グレード I である。異型脈絡叢乳頭腫は核分裂活性が亢進した脈絡叢腫瘍であり WHO グレード II で、脈絡叢癌は明らかな退形成所見を示す脈絡叢腫瘍で WHO グレード III と悪性度が増す。

症状

脳室内に発生して水頭症をきたしやすく、1 歳までの乳児期に発生すれば、頭蓋内圧亢進の症状として、頭囲の異常増大、繰り返す嘔吐、活動性の低下などがあり、年長児では頭痛などを訴える。脳の局所症状を呈することは少ない。

治療

脈絡叢乳頭腫、異型脈絡叢乳頭腫、脈絡叢癌ではいずれも腫瘍の摘出が第一選択である。全摘出後に水頭症が残存すれば髄液シャントが必要となる。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/1_6_79.html